

令和6年度「愛のひと声・あいさつ運動」実施結果

1、趣旨

地域の方々が、青少年に声をかけ、あいさつを交わして愛情を示すことは、青少年の心に「いつも気にかけてくれる」「心配してくれている」という意識を育て、迷いが生じた時に「自制する力」と「がまんする力」を育てることにつながります。

愛のひと声・あいさつ運動は、近隣の子ども達の名前・顔を覚えることからはじめ、地域社会で声をかけあい、あいさつを交わす良い習慣を築き、青少年を非行から守り、芯の強い青少年を育てるための活動です。

2、実施結果

活動実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

団体名	実施報告数	※うち夜間 パトロール実施	活動日数（延）	参加人数（延）
町会・自治会・その他	133 団体	87 団体	9,618 日	47,927 人
学校 PTA 関係者	38 団体	7 団体	2,188 日	9,661 人
合 計	171 団体	94 団体	11,806 日	57,588 人

* その他・・・青少年育成協議会、青少年育成推進員、公民館地区など

本市では、青少年の健全育成にとって好ましい環境づくりを進めるために、町会・自治会や PTA 関係者、青少年育成推進員など、青少年に関わる団体の皆様の協力をいただきながら令和6年度も「愛のひと声・あいさつ運動」を年間通して実施できたことに感謝申し上げます。

実施形態はさまざまで、通学路において、小・中学生の登下校時の声掛けや見守り、町内巡視中に子ども達への声掛けや見守り活動が多くありました。また、夕方の見守りや夜間パトロールを実施し子ども達が集まりそうな場所に立ち寄り声を掛け危険から子どもを守る運動をしていただいている団体も増えてまいりました。

この運動を通して「子ども達に毎日挨拶をすることで、コミュニケーションがとれ、親近感がわいた」「進んで子ども達からあいさつをする習慣がついてきた」「地域の防犯対策で巡回をする中で、夜間出歩いている子を見かけなくなった」「学校、家庭、地域の人々の参加のもと互いに協力し活動を実施することで効果を挙げている」「町内会の子供達と顔見知りになり登下校以外でも声掛けがしやすくなり会話も増えた」「町会行事に参加する子どもや大人が増えてきた。」「町会全体で取り組むことで参加者が増えた」等、声かけやあいさつを続けることで、お互いに良い関係を生んでいるとの声が寄せられました。地域ごとに工夫がみられ活動の幅が広がっています。

青少年対策室では、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進するため、「地域の子どもは地域で守り育てる」「大人が変われば子どもも変わる」を基本に、地域社会が一体となり「愛のひと声・あいさつ運動」や「非行防止キャンペーン」などの事業を展開しています。今後におきましても、多くの関係団体・機関の皆さまのご理解、ご協力を得ながら、青少年健全育成及非行防止の推進に取り組んでまいります。